

木野瀬印刷株式会社



地域の活性化を先導する
ザ・リーディングカンパニー 第15回

COMPANY PROFILE

愛知県春日井市西本町3-235

創業 昭和21年4月 従業員 82名

資本金 2000万円 売上高 13.5億円(2017年連結実績)

「利他共栄」の社是を掲げ、顧客の困っていること、面倒に感じていることを解決する「ソリューション・プロバイダー」として、印刷物の企画・制作からマーケティングやメディア事業まで幅広いジャンルのサービスを展開。A全判片面四色機を始め、一台のオフセット印刷機や七台のオンデマンド印刷機を設置。人を大切にする社風のもと、向上心旺盛な社員を育てる。東京にも拠点設置。

木野瀬印刷は、名古屋市北区に隣接し、航空ミュージアムの新設、MRJの製造、FDAの発着便などで何かと話題の多い県営名古屋空港を望む春日井市西郊に本社を置く。平成二十七年に建てた新社屋は、従来分散していた工場を集約し、合理化、利便性等を実現した四階建ての瀟洒なビル。印刷設備と労働環境の調和にも配慮が行き届いている。

創業は昭和二十一年。木野瀬吉孝社長の父親が、戦後、疎開で預けられていた印刷機を活用して事業を立ち上げ、私営のバス会社や電力事業に関与していた先代からの人脈や信用によって、名古屋鉄道や中部電力などを顧客とする。大学卒業後、商社に勤務していた木野瀬社長は家業を継ぐため五十四年に入社。IT元年と呼ばれた五十六年、本社工場を現在地

に移転。ところが、六十年に先代が他界し、早々と経営者としての責任を負う立場になった。

新社長として掲げたのが、「利他共栄」を謳う社是。「お客様はもとより、地域社会への貢献を最優先に考え、行動し、共に栄えていこうという考え方です」と木野瀬社長。地域の活性化、地域・プロモーションの担い手としての立場を明確に打ち出すとともに、経営目標も定めたのである。「インターネットの普及によって、従来の集客スタイルや販促モデルが通用しなくなったお客様を抱えている課題の解決を支援しつつ、自らの業態改革に取り組むことが、なによりも急務でした」と、当時を振り返る。

生産性向上に寄与する
クラウドサービスも自社で開発